

暖かくなる前に、ハエ対策をお願いします！

ハエが気になる季節がやってきます。特に温度と湿度が上昇する時期は活動が活発になり、ハエが大量発生する場合があります。

ハエの生活環



ハエは1匹から1度に50~100個の卵を産みます。

- ・ハエは成虫になって5日で産卵し、1度に50~100個を産卵します。
- ・卵から成虫になる期間は、気温20℃で約20日、気温30℃では7日~10日で成虫となり、放っておくと、どんどん増えてしまいます。



ハエ対策のポイント

①発生源対策

新鮮な糞、堆肥舎の発酵不良なまま堆積された糞、飼料残渣等は速やかに適切に処理し、畜舎内外をこまめに清掃しましょう。
畜舎内の風通しを良くして乾燥させ、特に堆肥は発酵処理に努めましょう。

②幼虫(ウジ)対策

ハエは、ウジの段階で駆除するのが一番効果的です。
脱皮阻害剤(IGR剤)を定期的(週に1回)に散布しましょう。

③成虫対策

誘引トラップ(ハエ取り紙、ハエ取りシート等)、防虫ネットの設置のといった物理的な対策を実施しましょう。

※ネットの設置により畜舎に吹き込む風を遮断する可能性があるため、暑熱時に注意が必要です。

大量発生した場合は、有機リン系やピレスロイド系殺虫剤の散布が有効です。

(注意事項)

- ・殺虫剤は、正しい用量・用法で使用し、人・家畜への健康被害に注意しましょう。
- ・殺虫剤が家畜の体にかかると休薬期間が必要な場合がありますので、薬剤が生産物や家畜の体などにかからないよう注意してください。

3つのポイントを押さえた総合的な対策を行いましょう

